

【調査対象施設等：里親・ファミリーホーム、乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設】

措置児童の家庭復帰調査 調査票

【記入上の留意事項】

- 平成 30 年 12 月 1 日（以下「基準日」という。）時点において、児童福祉法第 27 条第 1 項第 3 号の措置（上記の調査対象施設）を行っている児童について記入してください。
 - 今回の調査の目的は、「新しい社会的養育ビジョン」(*)において示された内容を踏まえ、大阪市の社会的養育推進計画策定にあたっての現状とニーズ把握のためです。
 - 措置中ケースの現状把握（子どもの生活適応状況、家族との交流状況、解除の方向性）
 - 措置変更の検討ケースがどのくらいあるか など
- (*) 就学前児童は里親委託率を 75%とし、学童期以降は 50%とする目標値や、施設での入所期間を、高度なケアニーズを有するものでも、就学前で数か月、学童期は 1 年以内とし、さらに高度な場合でも 3 年以内とすること、など。

【記入者】

| | | | |
|-------|--|------|--|
| ケース番号 | | 児童氏名 | |
| 担当者名 | | 記入者名 | <input type="checkbox"/> 担当者に同じ <input type="checkbox"/> 他 () |

1 こどもの基本属性について

| | | | |
|--------------|--|----|-------|
| 生年月日 | 平成 年 月 日 | 性別 | ①男 ②女 |
| 相談種別 | ①養護（虐待） ②養護（虐待以外） ③非行 ④育成 ⑤その他 () | | |
| 入所措置・里親委託開始日 | 平成 年 月 日 | | |
| 施設等種別 | ① 里親・ファミリーホーム ② 乳児院 ③ 児童養護施設 ④ 児童心理治療施設 | | |
| 施設等名称 | | | |

2 こどもの入所・委託措置について

(各区分は支援学校等を含む)

| | | | |
|--|--|--|--|
| 基準日の状態 | ① 義務教育終了前 ② 中卒後年齢児未満 ③ 中卒・高校中退 ④ 高校在学中 ⑤ 大学、短大、専修学校 ⑥ その他 () | | |
| 措置変更での開始の場合は、連続する最初の措置の開始日 | 平成 年 月 日 | | |
| 基準日時点で、今後も必要と考える措置期間について（あてはまる選択肢一つに○をつける。） | | | |
| ① 3か月未満 ② 3か月以上～6か月未満 ③ 6か月以上～1年未満 ④ 1年以上～3年未満 ⑤ 3年以上 | | | |

※ただし、乳児院に入所のケースについては、引き取りまでに要する期間を選択してください。

3 基準日、直近の子どものケアニーズについて

※子どものケアニーズについては、直近の保護状況調査や対象施設とのやり取りで確認できている状態を選択してください。今回の調査のためにあらためて確認する必要はありません。

支援が必要な行動上の問題及び症状等について（よくあてはまる行動について、○をつける。複数回答可。）

【危険な行為】 ①幼児の徘徊、②火遊び、③自傷（抜毛・頭を壁に打ち付ける・リストカット等）
④他害行為

【危険認識の欠如】 ⑤危険認識の欠如

【触法・ぐ犯行為】 ⑥金銭持ち出し、⑦家の外での盗み、⑧暴力行為、⑨動物虐待、⑩器物破損、
⑪飲酒・喫煙、⑫薬物（シンナー・麻薬・覚せい剤等）、⑬深夜徘徊・無断外出、
⑭性加害 ⑮放火

【特別な支援が必要な行動】

⑯摂食障がい（拒食・過食・異食等） ⑰強いこだわり（日課がスムーズにできない等）
⑱同じ行為を何度も繰り返す（強迫行為）
⑲多動・注意欠如（衝動的でじっとできない等） ⑳性問題行動

【意思疎通の困難性】

㉑嘘を繰り返す ㉒養育者や支援者に反抗・挑発する
㉓行動が改善しない・できない ㉔長時間続く甘え・ぐずり
㉕長時間泣き叫ぶ ㉖固まる・黙り込む

【精神的症状】

㉗抑うつ状態（イライラしたりふさぎ込む等） ㉘自殺願望

【身体的症状】

㉙医学的に原因を特定できない身体的不調の訴え（頭痛・腹痛、吐き気、発疹等の訴え）
㉚心臓疾患 ㉛ダウン症児 ㉜未熟児 ㉝新生児薬物離脱症状

【登校状態】

㉞病気、経済的理由以外の30日以上の不登校

【性被害】

㉟性被害の経験

| 発達上の支援課題（疑いを含む）等について（あてはまる選択肢すべてに○をつける。） | | |
|--|--|--|
| ①月齢相当でない | ③重症心身障がい | ⑦身体障がい |
| ②-2SD 以下又は発育の伸びの顕著な低下 | ④知的障がい | ⑧その他（LGBT への支援等） |
| | ⑤発達障がい（ASD,ADHD,LD 等） | |
| | ⑥精神障がい（発達障がいを除く） | |
| 心理的課題（疑いを含む）について（あてはまる選択肢すべてに○をつける。） | | |
| ①愛着障がい（反応性） 養育者に対して、警戒や緊張がみられ触れられることを拒否 | ②愛着障がい（脱抑制型） 見知らぬ人をはじめ、誰かれなく馴れ馴れしく接する | ③家庭環境への拒否 家庭内でのトラウマ体験や里親不調を経験した子どもで、子ども本人の家庭環境に対する拒否感が強い。 |
| 必要な医療的ケアについて（あてはまる選択肢すべてに○をつける。） | | |
| ① 医療的行為（インシュリン・成長ホルモン注射等） | ⑥ 精神科への通院介助 | |
| ② 食物アレルギーの除去食対応 （エピペン注射対応を含む） | ⑦ 服薬管理（例えば常時・定期的に必要等） | |
| ③ 病児食対応（小児糖尿病・腎臓病等食事療法） | ⑧ 療育指導・訓練（運動機能訓練、言語機能訓練、視機能訓練、補聴訓練等） | |
| ④ 処置等の介助（たん吸引・発作時の対応等） | ⑨ その他（ ） | |
| ⑤ 頻繁な通院介助（1週間に3回以上、長時間等） | | |

